

宮崎大学医学部附属病院 整形外科 専門医養成プログラム

1. プログラムの概略・特徴

本プログラムは、新医師臨床研修制度の2年間で修了した医師を対象に、整形外科専門医を目指す教育プログラムであり、宮崎大学の医学部附属病院整形外科と研修病院における各整形外科の関連教育施設で構成されています。これらの関連教育施設は、いずれも日本整形外科学会認定研修施設であり、整形外科各分野での専門医も多数揃い、充実した研修を行うことができます。

本プログラムは、出身大学や初期研修施設に関わらず平等に運用され、また、各人の希望に応じて多彩な進路を選択できることが特徴です。研修実施責任者は、常時プログラム参加施設と緊密に連絡を取り、研修教育の一貫性と内容の充実をはかっています。

2. 研修目標

【一般目標】

本プログラムの一般目標は、高度な専門的知識、診断能力、治療技術を持つ整形外科専門医を養成することである。

【行動目標】

基本的な診察法や検査法、運動器疾患の治療体系、手術前後の管理、基本的な手術手技やリハビリテーションなど整形外科医として必要な技能や知識を修得し、日本整形外科学会卒後研修ガイドラインで定められた到達目標に達することを行動目標とする。

3. 研修スケジュール

3年目～凡そ10年目

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A	大学病院	関連施設	大学院	留学				
B	大学病院	関連施設	大学院	関連施設				
C	大学病院	関連施設	大学院	大学病院				
D	大学病院	関連施設	関連施設	関連施設	大学病院			
E	関連施設	大学病院	関連施設	関連施設	関連施設			

上記スケジュール以外でも、多彩な進路を選択可能である。

4. 評価

各施設において必要とされる全ての分野にわたる研修を行います。当該年度の研修内容を整形外科研修記録に記録し、各研修施設責任者が評価を行います。

その結果を踏まえ、本人の希望を加味し、次年度の研修施設・内容に対し指導が行われます。

5. 募集人員

10名程度

6. 実施責任者

帖佐悦男 (宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科分野・教授)

7. 指導責任者

帖佐悦男 (宮崎大学医学部附属病院)、税所 幸一郎 (独立行政法人国立病院機構都城病院)、安藤 徹 (独立行政法人国立病院機構宮崎病院)、松岡知己 (宮崎県立日南病院)、栗原典近 (宮崎県立延岡病院)、柳園賜一郎 (宮崎県立こども療育センター)、川添浩史 (串間市民病院)、浪平辰州 (球磨郡公立多良木病院)、塩月康弘 (高千穂町国民健康保険病院)、山本恵太郎 (社会保険宮崎江南病院)、内田秀穂 (宮崎県済生会日向病院)、森浩樹 (宮崎市郡医師会病院)、田島直也 (財団法人 弘潤会野崎東病院)、飯干明 (医療法人創起会 くまもと森都総合病院)、黒田宏 (医療法人社団善仁会 宮崎善仁会病院)、園田典生 (一般社団法人藤元メディカルシステム 藤元総合病院)、柏木輝行 (医療法人社団橘会 橘病院)、

8. 関連施設、学会認定状況

上記指導責任者の所属施設はすべて日本整形外科学会認定研修施設である。

その他の認定施設は

宮崎大学医学部附属病院

日本リウマチ学会認定教育施設

日本リハビリテーション医学会研修施設

独立行政法人国立病院機構都城病院

日本リウマチ学会認定教育施設

一般社団法人藤元メディカルシステム 藤元総合病院

日本リハビリテーション医学会研修施設

9. その他

[1] 専門医の取得

研修修了医師のほとんどが、最短の年限 (医師免許取得後 6 年) で日本整形外科学会専門医の資格を取得しています。さらに、多くの医師が、日本体育協会公認スポーツドクター、日本整形外科学会スポーツ医、日本リウマチ学会専門医・指導医、日本リハビリテーション医学会専門医・臨床認定医、日本脊椎・脊髄病学会認定脊髄外科指導医など、*subspeciality* での専門医資格を取得しています。

[2] 留学

希望に応じて国内外への留学が可能です。

[3] 進路

研修修了医師は、各県下はもちろん、全国各地で勤務医や開業医として地域医療に貢献しています。公立病院の院長、副院長、部長、医師会の会長、副会長などの要職を務める医師も多く、さらには大学以外の教育機関で活躍をしている医師もいます。

10. 連絡先

坂本 武郎 (宮崎大学医学部附属病院整形外科)

TEL : 0985-85-0986

FAX : 0985-84-2931

E-mail : seikei@med.miyazaki-u.ac.jp